SANUS SYSTEMS

MF209 壁掛け金具
取扱説明書

-----40V 型以下の液晶テレビで、重量 27.3kg 以下に適用 -----

このたびは、MF209 の液晶テレビ壁掛け金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
MF203 は、± 90°の回転調整と、± 15°の上下方向の視野角調整と、更に ±90°の首振り調整する事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

液晶テレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⃠	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠ 警告

⃠ 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⃠ 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくとも液晶テレビの重量の４倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告

禁止

MF209 液晶テレビ壁掛け金具は、40V 型以下で総重量 27.3kg 以下の液晶テレビを、壁面に固定するものです。
40V 型以上、27.3kg 以上の液晶テレビの取付には、絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、液晶テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。

禁止

湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

テレビの取り付けや取り外し作業は、２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

禁止

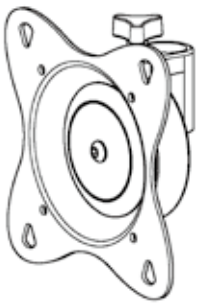
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

壁掛け金具を組み立てたり、各工程に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や厚み等によっては、不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

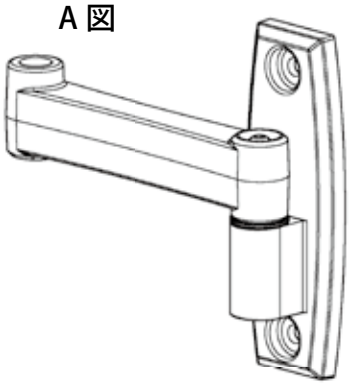
２．部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のＡ図と Ｂ 図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

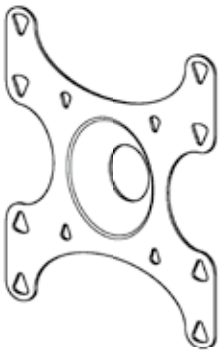
A 図



(A) テレビマウント …… 1コ



(B) 壁掛け金具本体 …… 1コ



(C) 大型 VESA200 金具 …… 1コ

(D) アーム下カバー板 ……1コ

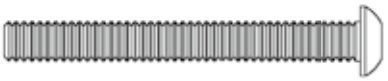
(E) カーバー板止めネジ …… 2コ

(F) 化粧ふた …… 6コ

(G) マウント取付パイプ ……1コ

(H) マウント取付大型ワッシャー ……1コ

(I) マウント取付ナット ……1コ



(J) マウント取付ボルト ……1コ

(K) マウント取付プラスチックワッシャー ……1コ

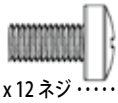
(L) マウント取付ワッシャー …… 2コ

(M) 本体固定ネジ用ワッシャー ……2 コ

(N) 本体固定ネジ ……2コ

(O) M4 x 10 ネジ …… 4コ

(P) M5 x 12 ネジ …… 4コ



(Q) M6 x 12 ネジ …… 4コ

(R) M4 x 30 ネジ …… 4コ

(S) M5 x 30 ネジ …… 4コ

(T) M6 x 35 ネジ …… 4コ

部品一覧表つづき

B 図

(U) M4/M5 ワッシャー …… 4コ　(V) M6 ワッシャー …… 4コ　(X) M6 スペーサー …… 4コ　(Y) コンクリートアンカー ……2 コ

(W) M4/M5 スペーサー …… 4コ

(Z) 六角レンチ ……1 コ

3　組み立てかた

1　テレビマウントと壁掛け金具本体を分離する

----- 開梱時テレビマウントと壁掛け金具本体が分離済みの場合は次の 2 項に進んで下さい-----

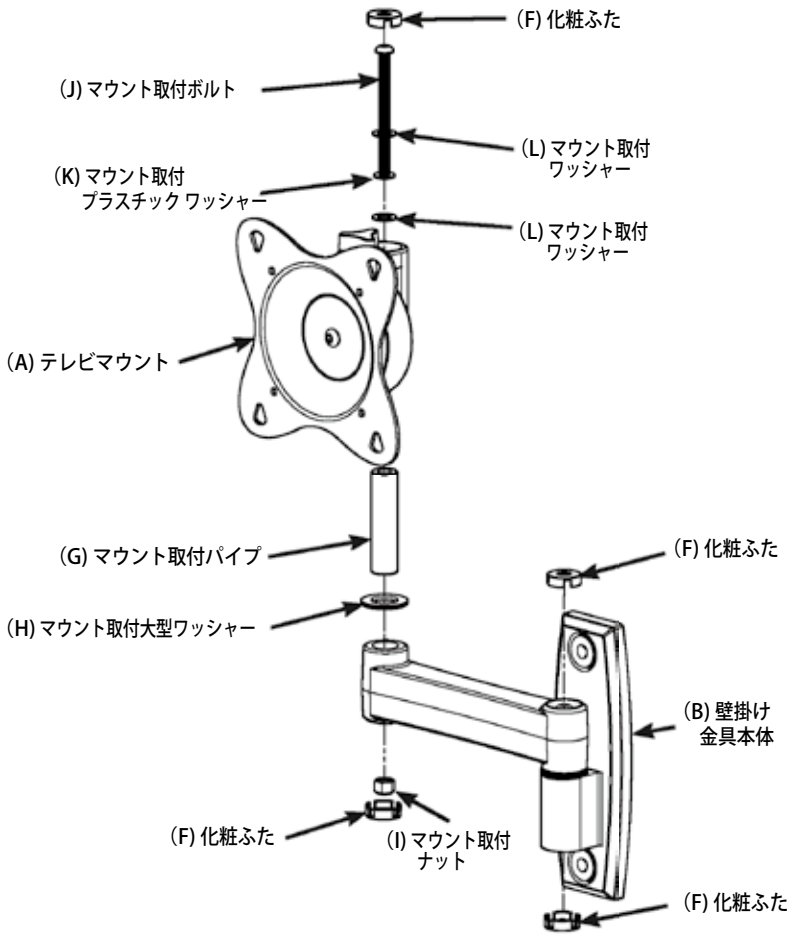
（1）組み立て作業を安全に、且つ容易に行うために、(A) テレビマウントと（B) 壁掛け金具本体を一旦分離します。

（2）先ず、(A) テレビマウントの上部にある (J) マウント取付ボルトを（Z) 六角レンチで一杯に緩めます。

（3）次に、テレビマウント部を丁寧に持ち上げると、壁掛け金具本体から分離できます。

（4）この作業で分離した後、C 図に示す各部品は、後の工程で再度組み立てに使用するので、全て大切に保管して下さい。

C 図



2　壁掛け金具本体の壁面への取付け

壁掛け金具を取り付ける壁面は、最大 27.3kg の液晶テレビの重量を保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。　なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。

注意　下記の「木柱及びコンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

注意：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ (N) は、本体固定ネジ用ワッシャー (M) が壁掛け金具本体 (B) に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが 16mm 以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こす恐れがあります。

木柱への取付

（1）高性能の間柱センサーを使用して、間柱の建っている位置を確認します。（D 図）

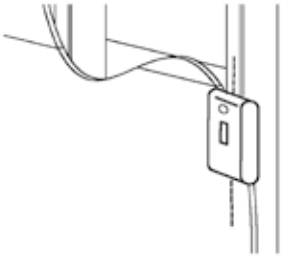
（2）壁掛け金具本体 (B) の上下 2 コの取付穴に挿入してある化粧ふた（F) を取りはします。次にこの金具を型紙代わりにして、間柱の左右の中心部に 2 コの穴位置に印を付けます。

（3）次に、印を付けた位置に 4.8 mm のドリルを使って深さ 64mm の下穴を開けます。（E 図）

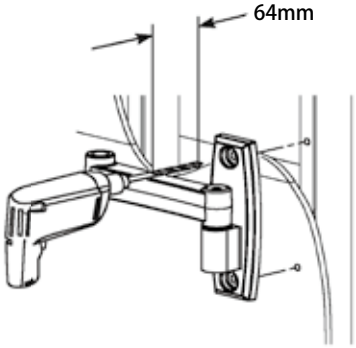
（4）この下穴に、2 本の本体固定ネジ (N) と本体固定用ネジ用ワッシャー（M) を使って、壁掛け金具本体 (B) を F 図 に示した通りに壁に取り付けます。

（5）最後に本体固定ネジの上に化粧ふた（F) を 2 コ押し込んで被せます。

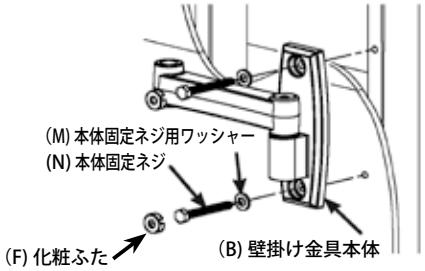
D 図



E 図



F 図



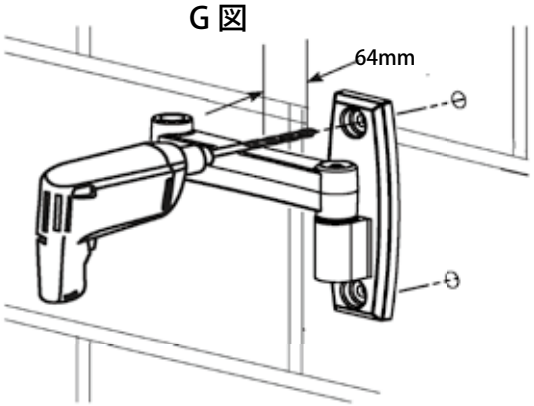
レンガ、コンクリート、コンクリートブロックへの取付

（1）壁掛け金具本体 (B) の上下 2 コの取付穴に挿入してある化粧ふた（F) を取りはします。次にこの金具を型紙代わりにして、壁面に取り付ける 2 つの穴位置に印を付けます。

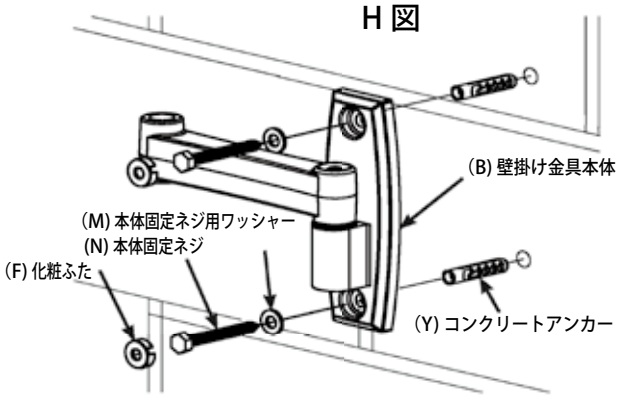
（2）印を付けた位置に、13mm のコンクリート用ビットで、奥行きが最低 64mm の下穴を注意深く 2 コ開けます。各々の穴にコンクリートアンカー (Y) を挿入します。

（3）2 本の本体固定ネジ（N) と 2 個の本体固定ネジ用ワッシャー (M) を使って、壁掛け金具本体 (B) を壁に取り付けます。詳細は H 図を参照して下さい。最後に本体固定ネジの上に化粧ふた（F) を 2 コ押し込んで被せます。

G 図



H 図



注意　コンクリートアンカー (Y) は、必ずレンガ、ブロック、あるいはコンクリートの部分に取付ます。ブロックとブロックの間のモルタルには絶対に取付けないで下さい。ドライウォールやその他の材質の壁がある場合でも、コンクリートアンカーが、コンクリート面に対し平らに設置されていることを確認します。
ドライウォールやその他の材質の壁の厚さが 16mm を超えないようにしてください。この注意を怠ると、器物の破損やケガを引き起こすおそれがあります。

3　テレビマウントのサイズ確認と取り替え方法

（1）取り付ける液晶テレビの背面にテレビマウント（A) を沿えて、4 コの取付ネジ穴の間隔が適合しているかどうかを調べます。

（2）もし、4 コの取り付けネジの穴間隔が、VESA75（75mm 間隔）か、VESA100（100mm 間隔）の場合は、マウントを交換する必要がないので、次の 4 項に進んでください。

（3）液晶テレビが VESA75 や VESA100 の金具に取り付かない場合は、次の方法で大型 VESA200 金具（C) に取り替えます。

（4）I 図の [1] のネジを（Z) 六角レンチで緩めて、[2] の 50mm 径円板と、[3] の 71mm 径プラスチック円板 を取り外します。

（5）次に J 図のように（A) テレビマウントから [4] の VESA100 金具を取り外します。続いて写真 1 に示すテレビマウントの中にある黒い円状治具を取り外して下さい。

（6）テレビマウントのテンション調整用つまみの下にある金属の三角柱（ストッパー治具）が、写真 2 の様にテンション調整用つまみの側に寄っている状態で、先ほど取り外した黒い円状治具を取り付けて下さい。※ ストッパー治具は、写真 3 の様にテンション調整用つまみから離れた状態にある場合は、テンション調整が働かないか VESA 金具がうまく装着できなくなりますのでご注意下さい。

（7）上記（5）で取り外した黒い円状治具の円の切れ目が写真 4 のようにテレビマウントの凸部分に合うように装着して下さい。

（8）K 図に示した（C) 大型 VESA200 金具を、L 図の様に [4] の VESA100 金具の取り付いていた場所に配置します。

（9）L 図の様に、[3] の 71mm 径プラスチック円板、[2] の 50mm 径円板の順序で（A) テレビマウントに配置して、最後に [1] のネジでこれらの部品をしっかりと固定します。この時、[3] の 71mm 径プラスチック円板の中心部に開いている四角形の穴は、テレビマウントの四角形をした突起にピッタリと嵌め込む要領で取り付けて下さい。

写真 1

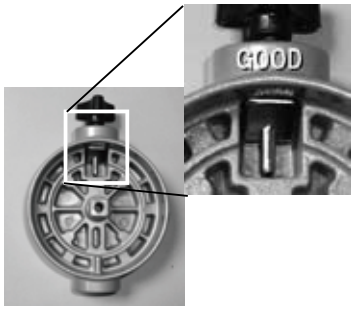


写真 2

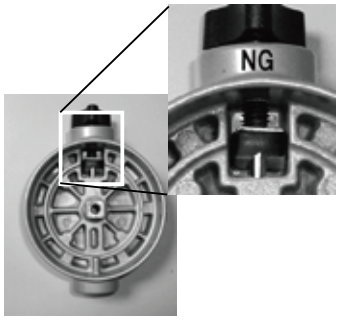


写真 3

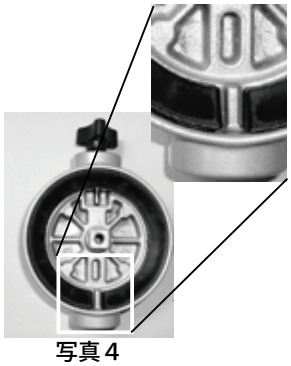
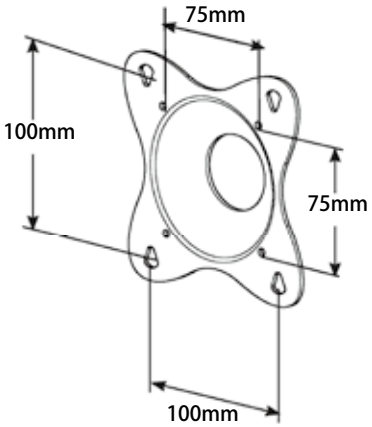
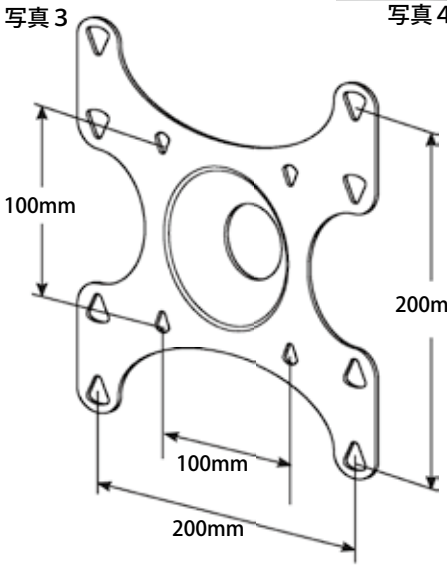


写真 4

J 図

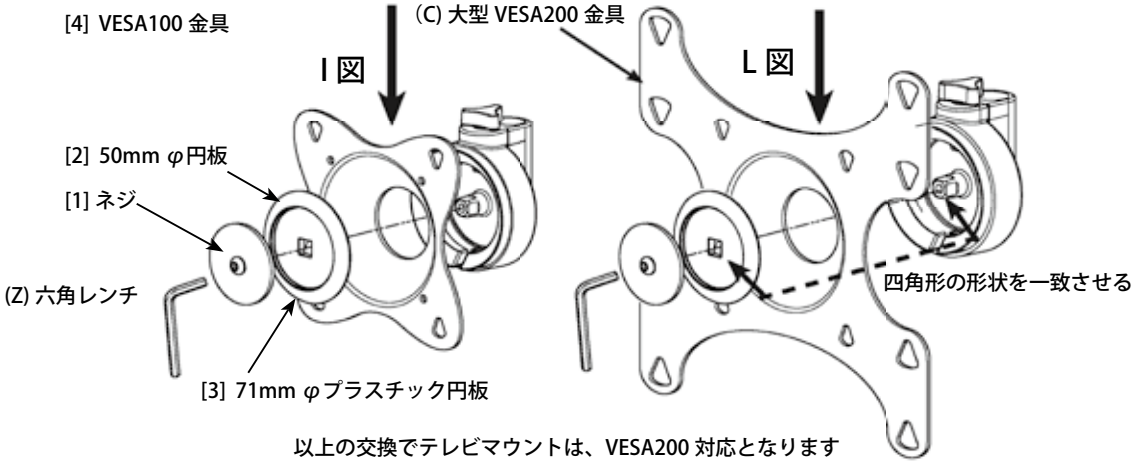


K 図



I 図

L 図



以上の交換でテレビマウントは、VESA200 対応となります

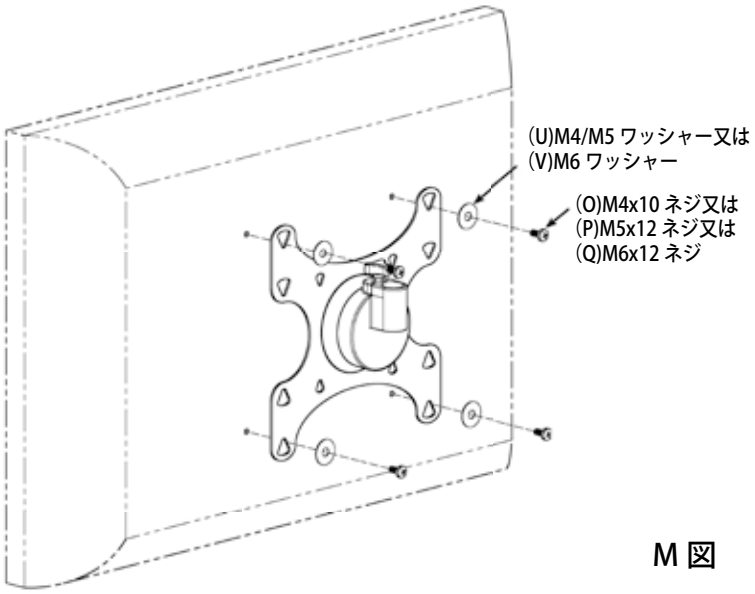
4　背面が平坦な液晶テレビへのマウントの取り付け

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

（1）液晶テレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
　　液晶テレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。

（2）液晶テレビの背面に取り付けるテレビマウント (A) の場所を見つけ、そこのネジ穴の径を調べます。
　　M4 ネジ (O)、M5 ネジ (P)、M6 ネジ (Q) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
　　もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

（3）先に調べたネジの径により、M 図の様に、ワッシャー (U)、(V) を使って液晶テレビをテレビマウントの VESA 金具にしっかりと取り付けます。



M 図

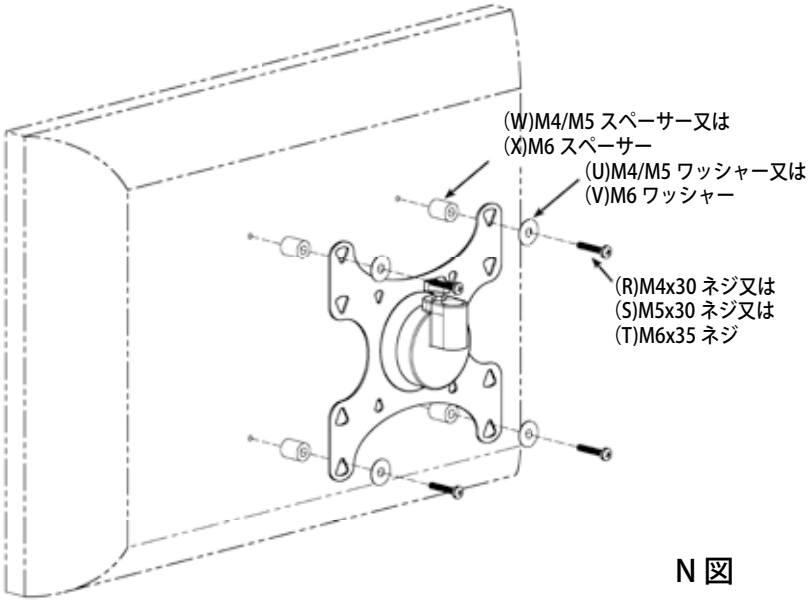
5　背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのある液晶テレビへのマウントの取り方け

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

（1）液晶テレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
　　液晶テレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。

（2）液晶テレビの背面に取り付けるテレビマウント (A) の場所を見つけ、そこのネジ穴の径を調べます。
　　M4 ネジ (R)、M5 ネジ (S)、M6 ネジ (T) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
　　もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

（3）先に調べたネジの径により、N 図の様に、ワッシャー (U)、(V) と、 更にスペーサー (W)、(X) を使って液晶テレビをテレビマウントの VESA 金具にしっかりと取り付けます。



N 図

6　液晶テレビの壁掛け金具本体への取付とテンション調整

注意：液晶テレビはの取り付けは、2人以上で行って下さい。
テレビが落下してけがをしたり、テレビが破損する原因となることがあります。

液晶テレビの取付方法

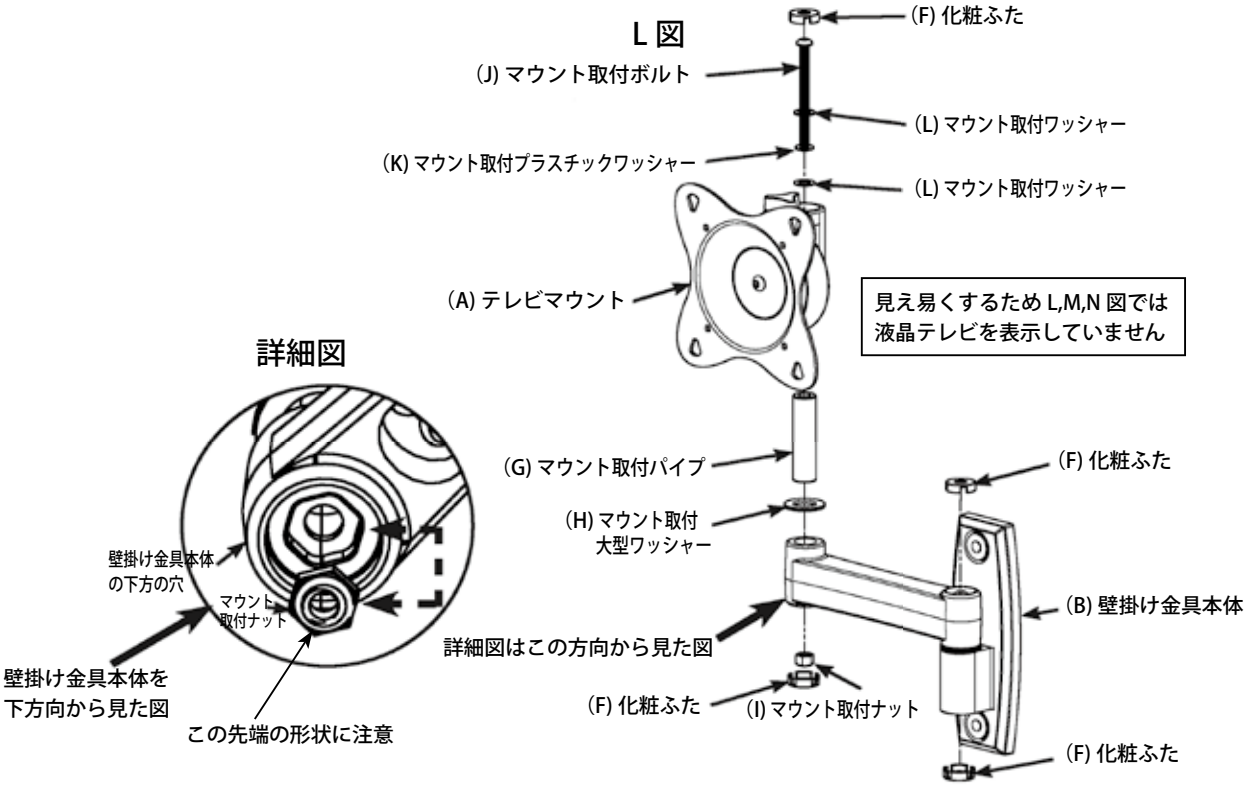
（1）項目 1 で取り外した（G) マウント取付パイプを（B) 壁掛け金具本体の下方にある丸穴に挿入します。

（2）(H) マウント取付大型ワッシャーを、(G) マウント取付パイプに通して下まで落とし込みます。

（3）(A) テレビマウントの取り付いた液晶テレビを持ち上げて、テレビマウントの下方の穴を（G) マウント取付パイプに被せる要領で嵌め込みます。

（4）N 図の様に、2 コの（L) マウント取付ワッシャーの間に（K) マウント取付プラスチックワッシャーを挟み込んで（J) マウント取付ボルトに通します。

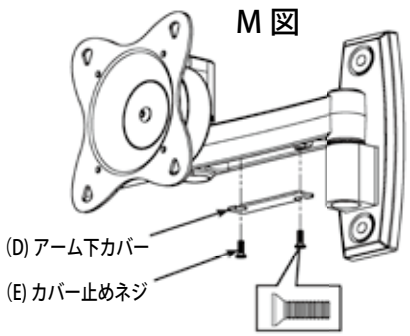
（5）これらのワッシャーの取り付いた（J) マウント取付ボルトを（A) テレビマウントの上から挿入し､下から（I) のマウントロリ付けナットでしっかりと締め付けます。この時、このナットの六角形の外形と、テレビマウントの六角形の穴の形状を一致させる事と、このナットの取付の向きは、N 図に示す詳細図を参照して下さい。
最後にテレビマウントと、壁掛け金具本体の上下の穴に（F) 化粧ふたを被せます。



ケーブル類の収納

（1）M 図のアーム下のスペースにケーブル類を収納します。アームを動かした時、ケーブルが引っ張られるのを防ぐため、少しだけたるみを持たせて下さい。

（2）アーム下部に、(D) アーム下カバー板を 2 コの (E) カバー止めネジでしっかりと固定します。



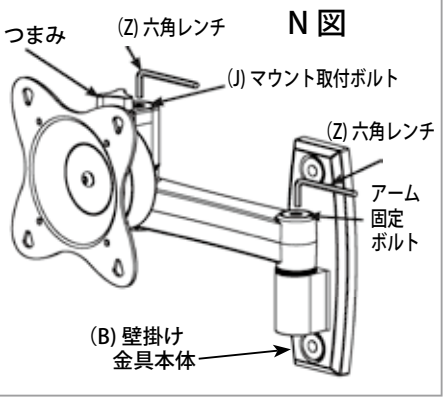
テンションの調整方法

（1）N 図のつまみを緩めて、液晶テレビの上下方向の視野角調整と、左右の傾き（回転）を調整した後、このつまみを締め付けます。

（2）又、これらの動作がご希望のテンションで行える程度にるように、このつまみの締め付け強度を加減して下さい。

（3）(J) マウント取付ボルトを少しだけ緩めて、液晶テレビの左右方向の調整をした後、ご希望のテンションで左右方向に動く程度に、このボルトの締め付け強度を加減して下さい。

（4）同様に、アーム根本のアーム固定ボルトを少しだけ緩めて、ご希望のテンションで左右方向に動く程度に、このボルトの締め付け強度を調整します。



4．テンション調整補足

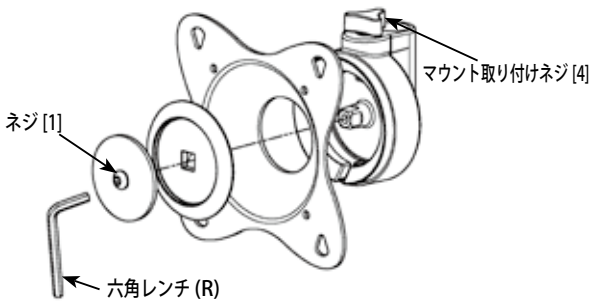
バーチャルアクシス 3D 搭載マウントのバーチャルアクシス機構の調節がうまくいかずにテレビが傾いてしまう場合に下記の調節を行うことで本来のバーチャルアクシス 3D の機構を使用することができます。

1）テレビをマウントに取り付ける前に、マウント取付ねじ［4］を緩めて、フリーの状態にします。

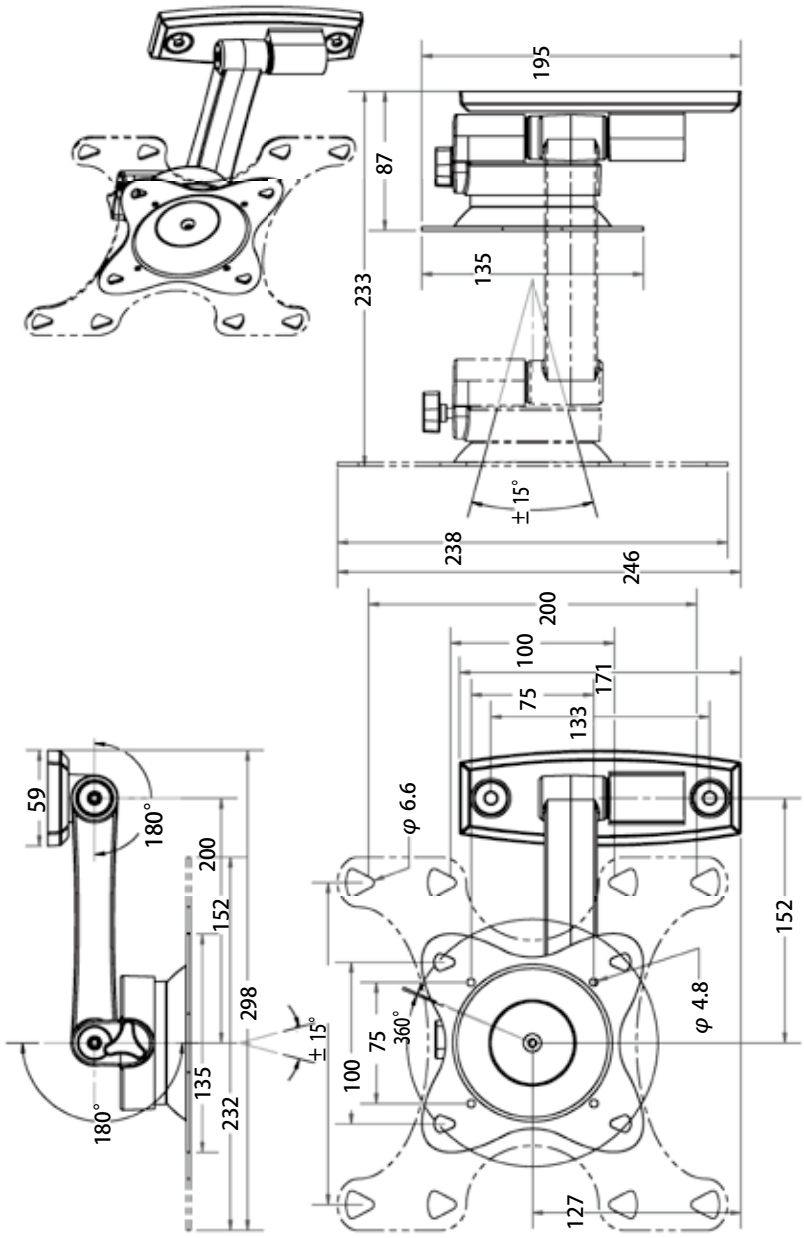
2）ネジ［1］を 6 角レンチできつく締め付けます。

3）テレビをマウントに取り付けます。

3）マウント取付ねじ［4］を締め付けて強度を調節してください。



5．MF209 外観図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒 559-0012　大阪市住之江区東加賀屋 2-8-12
ネットワークジャパン株式会社　TEL : 06-6686-6355　FAX : 06-6681-5734
http://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com